



12.4.29
都サ連通信
発行 東京都手話サークル連絡協議会
代表 高田 直樹
<http://tosaren.web.fc2.com/index.html>
tosaren@syuwa.tv
FAX03-3729-8815

自立支援センター運営委員会報告

3月10日、4月14日(土)10~12時

○新運営委員

東京都聴覚障害者連盟

委員:倉方、田原、唯藤、荒井、浦城

監事:三原

東京都中途失聴・難聴者協会

委員:高岡、明田、()

監事:小川

東京都手話サークル連絡協議会

委員:杉石

東京都登録要約筆記者の会

委員:坂部

東京都ろう重複者とあゆむ会

委員:小林

東京都手話通訳問題研究会

委員:()()

渋谷区聴覚障害者協会

委員:()

学識経験者

委員:櫻井、関、山本

○第14回自立支援センターまつり

7月16日(海の日)

第1回実行委員会4月10日(火)19時から

第2回実行委員会5月1日(火)19時から

○ふれあいサロン 第2土曜日 18時より

○次回 運営委員会は5月19日(土)10時から

総務会議は5月2日(水)19時から

(文責 杉石)

福祉対策会議報告(3・4月)

- ・第41回「耳の日記念文化祭」は、延べ約3,700人の参加者で賑わった。防災中心の内容で、東京消防庁の協力を得て新企画を盛り込めた。
- ・2月28日「高松市の手話通訳派遣に係る裁判」支援決起集会。手話通訳に関する日本初の裁判。金銭面も含めての支援が必要。学習の機会を作る。
- ・2012年度福祉対策会議計画案。年間9回、第一月曜日の予定。
- ・東聴連は、3月18日 評議委員会・総会にて2012年度の事業日程、役職が決定。他団体の総会は未開催。
- ・初回の学習会&地域担当者会議は5月7日リフレッシュ氷川にて開催予定。テーマは制度改革と高松市裁判の取り組みを中心に。

(文責:委員 林紀子)

たましろの郷後援会役員会

2月18日の施設創立10周年記念の集いには、400名以上の方にご参加いただきました。たくさんの方にご協力いただき、本当にありがとうございました。

施設より

- ・自立支援法の改正に伴い、4月1日から新事業体系に移行しました。
- ・今までご協力いただいていた理容師さんが来ていただくことができなくなってしまったため、聞こえない理容師の方をご存知でしたらご紹介ください。1回平均5人~10人、男女関係なくカットしてくれる方、1人500円洗髪なし。

事務局より

- ・2011年度会員数...個人:1107名(新規119名)1193口
団体:50団体 102口
募金箱...230個回収 ¥906,043(3月31日現在)

今後の予定

- ・4月22日(日) たましろの郷開所記念もちつき大会
- ・6月2日(土)「2011年度報告集会」...場所 渋谷区地域交流センター新橋

昨年度はたくさんのご支援をいただき、ありがとうございました。たましろの郷後援会では随時、会員を募集しています!!今年度もよろしくお願ひ致します。

(文責 戸部)

一日研修会報告

平成23年11月27日(日)昭和女子大学大会議室において、多摩南ブロック(多摩、八王子、府中、町田)が企画運営を担当し一日研修会を実施した。

今回の研修テーマは、「われわれサークル会員ができることは何か」について再考する機会の提供だった。分岐点を迎えているろう運動の現状を知り、今後のありかたを検討するため注目したのが「メディア」である。ろう者の映像作家今村彩子氏、手話ブームのきっかけとなったテレビドラマのプロデューサー貴島誠一郎氏をゲストとして迎えた。

前半は、今村氏による講演。同氏が制作した被災地のろう者の現状を伝える映像を中心に、聴者とのコミュニケーションの壁にとらわれず自己実現している「ろう者」が主人公の最新作とギャラクシー賞に輝いたCMも紹介され、聴者への啓発とろう者自身を省みることの重要さが伝わってきた。

後半は、今村氏(ろう者)、貴島氏、林雅臣氏(ろう者)、高田代表によるパネルディスカッションを行い、それぞれの立場から貴重な意見を伺った。ろう者の現状や手話の存在を広く社会に伝えていく必要性、その手段についての活発な意見交換など、考える材料として各サークルに持ち帰ることのできる内容を提供できたと思う。

何より、手話やろう運動に関わる人自身が活動を楽しむこと、それこそが人に伝えていくための原動力になることを忘れてはならないと改めて考えさせられた。

(多摩南ブロック)

耳の日感想

品川手話サークルの安部です。「耳の日記念文化祭」実行委員として、会議等の「記録」を担当しました。「耳の日～」参加は2回目ですが知らない事が多く、いい経験でした。所属サークルの例会になかなか参加できず、そんな状態にも関わらず、この経験をさせてもらえ、所属サークルと都サ連の皆さんに感謝しています。どうもありがとうございました。

会議中は、「通訳者の声を書く」作業が多く、机上の文字を見る時間が長いです。「手話が達者でなくても担当できる」と言われたおかげで、経験の浅い私も「やろう」と思いました。経験していないから気付き「素朴な疑問」も、出せるかもしれません。「記録」という作業だけ見れば、他に適任団体があるかもしれませんが、「都サ連」が協力する事に意味があると思います、取り組みました。会議中は記録に集中しますが、自ら動けば、時間外に色んな人と話せると思います。

要員としての感想は、自ら情報を得ておくと、対応し易いと思いました。受付・美化・警備等...、来場者の質問に答えられると要員としても嬉しいです。来場者に「記念誌 ページに載っています」と示すだけでも、要員をやる充実感が上がると思いました。

会議と当日を振り返り、とても有意義な時間でした。改めて、関係者の皆さん、ありがとうございました。

参政権保障委員会報告(2012/3/19,4/16)

参政権保障委員会では、毎月第3月曜日に定期会議を持っています。

シンポジウム

4/14、三田の障害者福祉会館で「障害のある人の参政権保障を求めるシンポジウム」が開かれました。当日は、岐阜の中津川で代読裁判を戦っている小池さんや金沢大学の井上教授、成年後見制度裁判の杉浦弁護士、ALS 裁判の原告の橋本さんなどが見え、裁判の様子などいろいろなお話を聞くことができました。

当時は、雨にもかかわらず、70人以上が参加され用意した部屋がいっぱいになりました。参加者の半分くらいが聴覚障がい関連の方方で、関心の高さにびっくりいたしました。

それぞれの障がいと参政権の問題点など、活発な議論があり、時間は3時間程度でしたが、あっという間に終わってしまった感じでした。

立ち会い演説会についての勉強会

5月の参政権委員会で、市川明臣さんをお招きして、勉強会を開く予定です。勉強会の内容をふまえ、大きな勉強会あるいは講演会を企画する予定です。

次の会議は、5月21日を予定しています。(事務局 三村)

広報班からお願い

今年の1月31日付けで加盟サークルの皆様をお願いしております「都サ連ホームページ担当者」の件ですが、今の時点でお申し出がありません。地域の情報交換や活動報告の場として4月から正式にホームページの運用を開始するにあたり、都サ連事務局の仲間として技術的にサポートして下さる方がどうしても必要です。私達と一緒にホームページを魅力ある内容にしていくお手伝いをして下さい方、広報班はもちろんのこと事務局員一同、心より御連絡をお待ちしております。

【連絡先】 都サ連広報担当 山崎 晋

03 - 3991 - 5502 (FAX有)

090 - 7219 - 6470 (携帯)

(文責 山崎)

